

学びのなかで 自分のキャリアをデザインしよう



大学時代に学問を通じて知力・学識を深めたり、多様な経験をする事は、将来の自分のキャリアをデザインし、希望の進路を実現する上でも非常に重要です。立命館大学は、正課の学びや課外活動の中で職業観や将来像を形成できるよう多彩なプログラムや充実した環境を整えています。

立命館大学の進路・就職支援

立命館大学では、入学後の教育（正課・課外）と進路・就職を包括してとらえ、学部学生ならびに院生への進路・就職支援を行っています。これまで、各学部・研究科の教員による進路・就職指導はもちろんのこと、本学では「大学は有為な人材を社会に輩出する使命を負っており、進路・就職政策は人材育成の視点から見た学園の総合政策である。」として、学生の進路・就職支援は最も重要な学園課題のひとつとして位置づけています。

学部学生ならびに院生への進路・就職支援を包括的に進めるキャリアセンター、公務員採用試験等への支援との関係でのエクステンションセンターなど、関連部課と協働して支援を行っています。激動する社会にあって、社会は「イノベーター」「クリエイター」「コーディネーター」「コラボレーター」など新しい社会や価値を創造

し切り拓く人材の養成を求めている、学生が卒業・修了時点で求められる「力」も変化しつつあります。そのような状況の中、立命館大学では単なる「就職支援」ではなく、学生の社会観・職業観育成、社会における力量形成などを主眼に置いたキャリア支援の考え方をいち早く取り入れ、全国に先駆けて1999年に「キャリアセンター」を開設しました。

全学生を対象とした支援プログラムの実施

入学時から4年生に至るまで適時の支援プログラムを系統的に実施し、段階を踏んで目的意識を持った、学び、進路選択、就職活動を主体的に行えるようさまざまなプログラムを充実させています。

また、ガイダンス、講演会、説明会といった「伝える」支援から「就職合宿」などディスカッションやワークショップ形式の「考え、行動できる」支援に重点を置いています。



スチューデント・ネットワークによる自主的活動の高度化

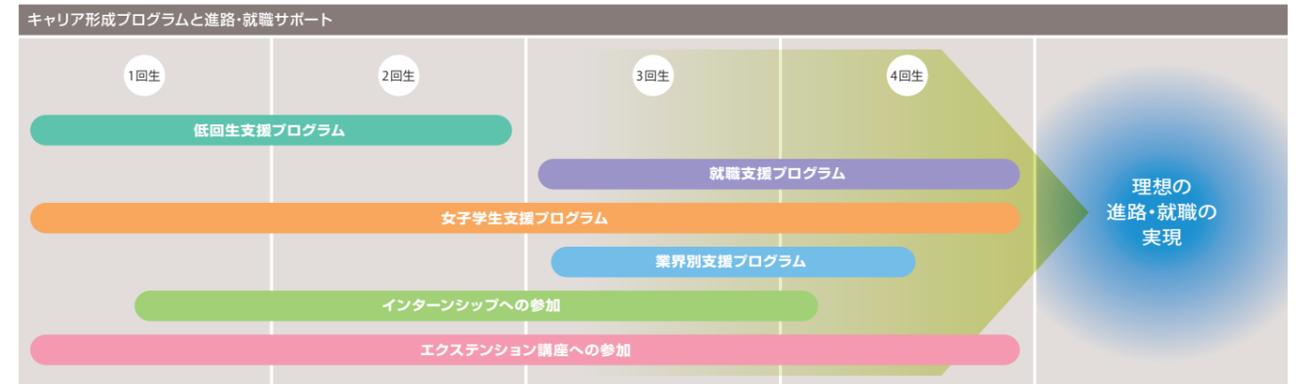
全国から学生の集まる本学の特徴を活かし、多様な個性を持った学生が相互に刺激しあいながら将来を考え就職活動を進めていく学生相互支援の取組みが、本学の就職支援の特色といえます。その代表的なものとして「スチューデント・ネットワーク」があげられます。これは学生同士が支援しあい、キャリアを形成し就職活動を盛り上げていく活動です。具体的には、「プレイズメント・リーダー（PL）」、「ジュニア・アドバイザー（JA）」、「キャリア・

アドバイザー（CA）」と呼ばれる学生や卒業生による支援制度です。2007年度は、PLが約400名、JAが約200名、そしてCAが約2,000名の登録があります。このように就職というものを1つの軸として、就職活動中の学生、内定後の学生、若手OB、この3者が連携して行われる相互支援、学び合いにより成長を促します。学生の皆さん、ぜひこの仕組みを利用してください。

プレイズメント・リーダー（PL）
各ゼミやサークルから選ばれる就職活動のリーダー。就職準備合宿、OB・OGとの交流会、勉強会などの自主企画を実施します。

ジュニア・アドバイザー（JA）
就職が決まった内定者は「ジュニア・アドバイザー（JA）」として、就職活動体験に基づく助言・援助を後輩にします。社系・理工系の大学院生もJAとなります。

キャリア・アドバイザー（CA）
就職して数年の若手OB・OGを「キャリア・アドバイザー（CA）」として登録。在校生へのアドバイスやCA懇談会への参加などを行います。



低回生支援プログラム

4年間をどう過ごすかを考えることから、進路・就職への動機づけ、具体的なキャリアデザインの形成まで、段階的かつ幅広いプログラムを用意し、サポートします。

[Step 1] 4年間をどう過ごすか?
希望進路や勉強・課外活動の目標などを記録し、定期的に振り返りキャリア形成の状況を把握しよう。

[Step 2] 大学で何を学ぶか?
大学での学びを社会でどう活かすか、「働く」という視点から実例を通じて理解します。

[Step 3] 将来像のモデル提示
多方面で活躍するOB・OGの話聞き、具体的な目標や将来のビジョンを定めます。

[Step 4] ブラッシュアップのためのプログラム
留学やエクステンション講座、インターンシップなどで各自の能力をさらに磨きます。

[STEP 5] インターンシップガイダンス / キャリアガイダンス
企業や自治体など社会の現場でのインターンシップについて理解し、参加に備えます。

就職支援プログラム

- 各学部学科の特性を反映した / 学部学科別進路・就職ガイダンス
- 各業界・各分野に精通したアドバイザーによる支援
- 各界の有名人やOB・OGなどを講師に招いた / 多彩な講演会
- グループワークなどアウトプット型の / セミナー&ワークショップ
- 卒業生や就職内定者のサポートによる就職合宿
- 時期や状況に応じて / 進路・就職をアドバイスする基本ガイダンス
- 業界の第一線で活躍する方の講座を通じた / 業界・企業研究支援
- 若手OB・OGの体験談から職種別の実状がわかる / 職種研究支援
- 父母教育後援会との連携によるUターン就職支援
- 多彩なパターンの模試や対策講座による筆記対策支援
- 求人情報、支援企画、ニュース等を伝えるホームページ

女子学生支援プログラム

- 女子学生を対象とした支援プログラム
- OGや外講師により具体的なキャリアデザインを形成する

業界別就職支援プログラム

- 国際機関・団体、マスコミ、メーカー、金融、総合商社、公務員等の業界研究プログラム
- 各業界で活躍するOBから直接仕事について学ぶ機会を提供

インターンシップへの参加

- 企業での就業体験を通じて、大学で身につけた知識や技術を社会で活かし、自己を高めていく機会を提供
- インターンシップオフィスを設け、インターンシップ参加を強力にサポート

エクステンション講座への参加

- 難関進路突破や資格取得のための豊富な講座を用意し、公務員就職やキャリア形成に貢献

理工学部支援プログラム

- 企業の動向などに関するセミナー、エンジニア・研究者として活躍するOB・OGとの懇談会等を実施

2008年4月新設予定 生命科学部・薬学部 （*薬学部は設置認可申請中であり、構想の一部は変更される可能性があります。）

<http://www.ritsumeai.ac.jp/lifescience/>

科学技術の発展と人間の豊かで健康的な営みの調和が求められる現在。立命館大学では「いのち」の問題を多角的・総合的にとらえる学問研究の発展に向け、理系学部を再編。新たなライフサイエンスの教育・研究拠点として「生命科学部」「薬学部」を開設し、これまでにない融合型の教育・研究を展開していきます。

時代のうねりの中で注目を集める「生命の探求」
「生命科学の世紀」といわれる21世紀には、生命科学を基盤とした科学技術が社会や生活へ浸透していくことが予想されています。これからの社会が持続的に発展を遂げるために必要な医療、健康、環境、食糧等の分野において、生命科学（ライフサイエンス）に関する教育・研究が果たす役割に大きな期待が寄せられています。「生命の根源」を

問い、「生命の行方」を探る生命科学は、人類の生存・発展のカギを握る学問領域なのです。

2学部開設によって、立命館の理系はさらに進化する
2学部の新設により、立命館大学の理系学部は4学部20学科に拡充。びわこ・くさつキャンパスは、日本の私大では最大規模の自然科学系教育・研究の一大拠点となり、総合大学ならではの多様で高度な教育・研究を展開。人文・社会科学系学部との連携も視野に入れ、生命・医療の課題に多面的にアプローチします。

生命科学部
生命・生物とは何か？という究極の課題に迫る、そしてまた人類が直面しているエネルギーや環境などの課題に挑む、

それが立命館大学の生命科学部です。本学部では、「応用化学科」「生物工学科」「生命情報学科」「生命医科学科」の4つの学科が各領域を深めつつ、互いに連携・融合することにより世界に発信できる新たな生命科学の創造を目指します。

薬学部
テーラーメイド医療やゲノム創薬など、遺伝子レベルの研究が進むにつれて医療・医薬分野は大きく変化しています。薬学部では、高度かつ実践的な薬剤師養成のための実務教育にとどまらず、これまでに培った本学の理工系、情報系研究を背景とした質の高い教育を進め、生命科学部との横断的なカリキュラムを設けて「医薬品のエキスパート」として幅広く活躍できる人材の育成をめざします。



生命科学部・薬学部概要

- 学部名および学科名
 - 生命科学部 (定員 280名)
 - 応用化学科 (定員 80名)
 - 生物工学科 (定員 80名)
 - 生命情報学科 (定員 60名)
 - 生命医科学科 (定員 60名)
 - 薬学部 [6年制]
 - 薬学科 (定員 100名)
- 開設年度 …… 2008年4月
- 開設場所 …… びわこ・くさつキャンパス

*学部・学科の名称および構想の一部は仮称・予定であり、変更される場合があります